

令和4年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

岐阜大学動物実験委員会

令和5年12月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東海国立大学機構動物実験等取扱規程 ・岐阜大学動物実験取扱規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に適合する機関内規定が適切に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・岐阜大学動物実験取扱規程 ・動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会が設置されており、適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料 ・岐阜大学動物実験取扱規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・岐阜大学動物実験取扱規程 ・岐阜大学組換えDNA実験安全管理規程 ・岐阜大学病原体等安全管理規程 ・岐阜大学放射線障害防止管理規程 ・岐阜大学エックス線障害防止管理細則 ・岐阜大学薬品等管理規程 ・動物実験施設利用者講習会テキスト 動物実験施設利用の手引き 1 巻～5 巻
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・岐阜大学動物実験取扱規程 ・岐阜大学飼養保管施設一覧（合計：51施設）

工学部（1施設：生命工学科培養室） 応用生物科学部（43施設：応用生物科学部附属動物環境制御飼育室 等） 教育学部（2施設：淡水魚飼育施設 等） 高等研究院（4施設：科学研究基盤センター動物実験施設小動物飼育区画 等） 医学部（1施設：空間認識実験装置機械室）
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会委員が、飼養保管施設とその実験動物管理者を把握できる体制となっている。
4）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6．その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当しない。

Ⅱ．実施状況

1．動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・岐阜大学動物実験委員会議事要録（会議開催：12回 書面審議：9回）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 岐阜大学動物実験取扱規程に基づき、適正な委員会を実施している。 （新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から大学の活動方針に従い、対面での会議開催を自粛し、書面での審議を行った。対面開催時も感染防止措置の上、行った。）
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2．動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3．安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料

・動物実験委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全管理上注意を要する動物実験について、他委員会とも連携をとり適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料 ・令和4年度実験動物の飼育状況報告書 ・科学研究基盤センター動物実験分野利用の手引き
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 岐阜大学動物実験取扱規程及び科学研究基盤センター動物実験分野利用の手引き等に基づき適正な飼育・保管を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・飼養保管施設設置承認に係る資料 ・実験室設置承認に係る資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設の申請に関して、動物実験委員会委員が、直接申請された施設を確認し、委員会が定めたチェックシートに沿い、調査を行っている。その調査結果をもとに、委員会が施設の設置承認の審査を行っており、審査体制は適正である。

4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

・岐阜大学動物実験教育訓練実施状況の資料

令和4年度実施回数： 27回、受講者数（のべ）： 192名

<実施日>

①動物実験委員会主催 2部制 14:00～/16:00～開始（参加者32名）

令和4年4月27日、令和4年5月25日、令和4年7月20日、令和4年9月21日、令和4年12月12日

②科学研究基盤センター動物実験分野主催（参加者141名）

令和4年4月13日、18日、19日、20日、5月18日、6月21日、22日、23日、24日、7月12日、8月25日、26日、29日、10月24日、26日、28日、12月12日、14日、令和4年1月11日、23日、2月21日、24日

③講義 DVD 貸出（利用者 学内：5名 外部：8名）

④オンライン（利用者6名）

（新型コロナウイルス感染症対策もあり、一度の講習会の参加人数を少なくするために、令和3年度と同様に開催回数を増やすだけでなく1日に2回開催行う形式とし、参加が難しい方には DVD 貸出等の対応を行った。

また、対面開催時の参加者が過少により中止となった場合は、学内の者に関してはオンラインでの受講とした。）

・岐阜大学動物実験教育訓練資料（①、③及び④で使用）

<教育訓練の内容：ビデオ講義>

関連法令、指針等について

動物実験等の方法について

実験動物の飼養保管方法について

安全確保、安全管理に関する事項について その他、適切な動物実験等の実施に関する事項について ・動物実験施設利用者講習会テキスト 動物実験施設利用の手引き 1 巻～5 巻 (②で使用)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・岐阜大学動物実験取扱規程 ・動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・動物実験に関する検証結果報告書 (平成26年度)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 自己点検・評価、情報公開は適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

(1) 岐阜大学動物実験委員会の構成 岐阜大学動物実験取扱規程により9名 ① 動物実験等に関して優れた識見を有する者 3名：医学系研究科 (細胞生物学)、医学部附属病院 (循環器内科学)、 応用生物科学部 (動物生産科学) ② 実験動物に関して優れた識見を有する者 2名：高等研究院 (実験動物学)、応用生物科学部 (獣医学) ③ その他学識経験を有する者 3名：工学部 (動物生理化学、神経科学)、教育学部 (地理学)、地域科学部 (哲学、倫理学)、 ④ 研究安全管理課長 1名 (2) 令和4年度実験動物の使用及び飼育状況報告書 (別紙1)

(3) 令和4年度動物実験実施状況に関する調査書（別紙2）

実験動物の使用及び飼育状況に関する調査(令和4年度分)

別紙1

		教育学部			地域科学部			医学部			工学部			応用生物科学部			糖鎖生命コア研究所			高等研究院			連合獣医			連合創薬			連合農学			合計		
	動物種	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日			
哺乳類	マウス(遺伝子改変マウス以外)	0	0	0	0	0	0	30	7,300	20	0	0	0	14,443	96,406	264	0	0	0	1,380	74,404	204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64,553	178,110	488
	マウス(遺伝子改変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		430,620	1,180	0	0	0	48,700	6,105,520	16,727	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6,536,140	17,907
	ラット(遺伝子改変ラット以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,431	19,050	52	0	0	0	104	24,285	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,535	43,335	119
	ラット(遺伝子改変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		7,900	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		7,900	22
	ハムスター類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	403	1,923	5	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	411	1,931	5
	モルモット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	118	0	0	0	0	0	190	1,866	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	308	1,866	5
	スunks	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	190	0	0	0	0	0	25	10,102	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	215	10,102	28
	ウサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	16	854	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	854	2
	イヌ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	3,420	9	0	0	0	1	794	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	4,214	12
	ネコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	フェレット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164	4,348	12	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	166	4,358	12
	ヤギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12,410	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12,410	34
	ヒツジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2,715	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2,715	7
	ウマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	サル(マカク属)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル(リスザル属)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル(マーモセット属)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他のげっ歯目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	300	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	300	1
	その他の食肉目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1,460	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1,460	4
	その他の偶蹄目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の霊長目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上記以外の哺乳類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥類	ニワトリ	0	730	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,963	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,693	18	
	ウズラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ガチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ハト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の鳥類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
爬虫類	ヘビ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	カメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,240	18,614	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,240	18,614	51	
	トカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の爬虫類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	その他(ヒメダカ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0		
	合計	0	730	2	0	0	0	30	7,300	20	0	0	0	19,089	605,129	1,658	0	0	0	50,426	6,217,843	17,035	0	0	0	0	0	0	0	0	69,545	6,831,002	18,715	

※学内共同利用施設である高等研究院科学研究基盤センターの動物実験施設で実験・飼育を行っている動物については、高等研究院欄でカウントしている。

※※「/1日」は1日あたりの飼育数

動物実験実施状況に関する調査(令和4年度分)

別紙2

部局	継続課題*	新規課題	終了課題**
教育学部・教育学研究科	1	0	0
地域科学部	0	0	1
医学部・医学系研究科、医学部附属病院	44	35	36
工学部・工学研究科	3	3	2
応用生物科学部	50	146	130
連合農学研究科	0	0	0
連合獣医学研究科	0	1	0
連合創薬医療情報研究科	6	0	1
教育推進・学生支援機構	0	0	0
糖鎖生命コア研究所	1	2	1
高等研究院	4	11	10
流域圏科学研究センター	0	0	0
保健管理センター	0	0	0
グローバル推進本部	0	0	0
情報連携統括本部	0	0	0
大学本部	0	0	0
岐阜薬科大学	8	27	29
合計	117	225	210

* 2021年度までに申請された案件で、2023年度以降も継続する課題

** 2022年度中に終了した課題